

## 契約事務における評価点及び予定価格の誤りについて

総合評価方式[特別簡易型]を適用し、令和7年5月28日に開札した「小平市公共下水道老朽化対策工事(公7-1)」において、評価点の算出及び予定価格の積算に誤りがあることが判明しましたので、報告いたします。

### 【1】評価点の誤りについて

#### 1. 概要

評価点の算出に誤りがあったため、誤った評価点及び評価値を公表したものです。

[参考] 評価点+価格点=評価値

#### 2. 原因

評価項目のひとつで、防災協定締結の実績を評価しているところ、その条件として小平市に本店を有していることとしていたが、本店を有していない申告にも加点してまいりました。

また、その条件について、公表事項と申告書の内容に不一致があり、入札参加者からも、わかりにくい状況となっていました。

#### 3. 判明の経緯

入札結果公表後、入札参加者から公表内容について質問があり、精査したところ誤りが判明しました。

#### 4. 対応

入札手続きは適正に行われており、評価点の修正による、落札者の変更が無いことから、再入札は行わないこととし、正しい評価点及び評価値に修正した結果をあらためて公表いたします。なお、すべての入札参加者に説明し、了承を得ています。

算出の誤りを受け、同様の誤りがないか確認したところ、平成25年から令和7年の間で、同様の誤りが7件ありましたので併せて報告します。なお、いずれも修正による落札者の変更はありませんでした。

### 【2】予定価格の誤りについて

#### 1. 概要

予定価格の積算に誤りがあったことから、予定価格が本来より過大となったものです。

#### 2. 原因

労務単価や設計条件について、一部入力を誤ったため、本来の予定価格より約60万円過大となったものです。

#### 3. 判明の経緯

入札後、入札参加者から設計の内容について質問があり、精査したところ誤りが判明

しました。

#### 4. 対応

本来の予定価格であっても落札者の変更がないこと、また、既に契約しており、受注者が現場着手するなど一定程度進捗していることを勘案し、契約を継続することとします。なお、受注者及び他の入札参加者に説明し、了承を得ています。

積算の誤りを受け、同様の誤りがないか確認したところ、入札手続き中の1件で同様の誤りがあり入札を中止しています。

#### 再発防止

再度同様の事象がないよう、総合評価方式の様式修正を速やかに行い、照査体制の強化や公表情報の事前確認を十分に実施し、適正な契約事務手順の徹底を図ります。

#### 【問合せ先】

総務部企画経理課

042-686-1116